

【 目 次 】

1. UPS 設定ユーティリティとは？	2
2. UPS 設定ユーティリティの動作環境	3
3. ご使用上の注意	4
4. UPS とパソコンの接続方法	5
5. UPS 設定ユーティリティの使用方法	6
5-1. アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する	6
5-2. UPS の設定を変更する	7
5-3. 設定内容のバックアップを行う	8
5-4. UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する	8
5-5. UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻す	10
5-6. アプリケーションを終了する	11
6. 各種設定の詳細説明	12
6-1. UPS 基本設定	12
6-2. UPS 起動設定	15
6-3. UPS 接点信号設定	19
6-4. 出力コンセント制御設定	23
6-5. 入出力設定	26
6-6. バッテリ設定	30
6-7. LCD 制御設定・その他	32
6-8. コマンド送受信	34
7. 設定項目リスト	40
8. アンインストールおよび動作の確認	41

Revision History:

Rev.	Date	Description	Author
1. 00	2015/07/010	1 st Release	A. H
1. 01	2016/10/06	対応 OS 追加	Y. O
1. 02	2017/2/28	コマンド送受信 コマンド例追加	M. M
1. 03	2017/8/1	UPS とパソコンの接続方法	LI
1. 04	2018/6/6	対応UPS追加	Y. O

1. UPS 設定ユーティリティとは？

UPS 設定ユーティリティは、UPS の各種設定を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、UPS の設定変更を簡単に行うことができます。

例：停電時、シャットダウンソフトを使用せずにUPSを停止させる。

→「最大バックアップ時間設定」をする

また、UPS の設定内容をファイルにバックアップしたり、他の UPS に設定内容を転送したりすることもできます。

【設定可能項目】

- ① [UPS 基本設定]グループ
ブザー設定、電圧感度モード設定、コールドスタート設定、最大バックアップ時間設定
- ② [UPS 起動設定]グループ
起動時の自己診断テスト、4 週間毎の自己診断テスト、起動遅延時間設定、
起動バッテリー充電容量設定、DC 起動、自動再起動、自動再起動モード（BS 信号）
- ③ [UPS 接点信号設定]グループ
BS 信号遅延時間設定、BU 信号遅延時間設定、BS 信号許可モード、リモート信号動作
接点信号論理
- ④ [出力コンセント制御設定]グループ
コンセント A/B/C 出力開始遅延時間設定、コンセント A/B/C 出力停止遅延時間設定
- ⑤ [入出力設定]グループ
出力電圧設定、周波数同期モード、ECO モード、入力プラグ、切替感度、最大瞬停時間
電源スイッチ機能
- ⑥ [バッテリー設定]グループ
バッテリー寿命カウンタ、UPS 寿命カウンタ、バッテリーロー検出レベル、UPS 設置日
バッテリー交換日
- ⑦ [LCD 制御設定・その他]グループ
表示言語、LCD 自動オフ、メモ、内蔵時計、ログ件数

【ユーティリティ機能】

- ① コマンドを送受信する機能
- ② 設定をバックアップファイルに保存する機能
- ③ バックアップファイルから設定を戻す機能
- ④ UPS の設定内容を読み出す機能
- ⑤ UPS の設定をデフォルト値に戻す機能

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

2. UPS 設定ユーティリティの動作環境

対応コンピュータ	DOS/V機
対応 OS	Windows 10 Windows 8.1 / 8 Windows Server 2012R2/2012 Windows Server 2008R2/2008 Windows 7 Windows Vista Windows Server2003R2/2003 Windows XP Windows 10 IoT Enterprise LTSC Windows Embedded Standard 7
インタフェース	RS232C USB ※RS232C 通信設定 : 2400bps/8bit/1bit/none
対象 UPS	[S8BA シリーズ] S8BA-24D24D120LF / S8BA-24D24D240LF S8BA-24D24D360LF / S8BA-24D24D480LF S8BA-24D24D480SBF / S8BA-24D24D960SBF

3. ご使用上の注意

ご使用用途

当社商品は、一般工業製品向けの汎用品として設計製造されています。従いまして、次に掲げる用途での使用を意図しておらず、お客様が当社商品をこれらの用途に使用される際には、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。ただし、次に掲げる用途であっても、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合は除きます。

- (a) 高い安全性が必要とされる用途（例：原子力制御設備、燃焼設備、航空・宇宙設備、鉄道設備、昇降設備、娯楽設備、医用機器、安全装置、その他生命・身体に危険が及ぶ用途）
- (b) 高い信頼性が必要な用途（例：ガス・水道・電気等の供給システム、24時間連続運転システム、決済システムほか権利・財産を取扱う用途など）
- (c) 厳しい条件または環境での用途（例：屋外に設置する設備、化学的汚染を被る設備、電磁的妨害を被る設備、振動・衝撃を受ける設備など）
- (d) カタログ等に記載のない条件や環境での用途

ソフトウェア使用許諾について

本ソフトウェアをコンピュータにインストールした場合、以下の内容にご同意いただけたものといたします。ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをインストールしないでください。

1 保証内容

①保証期間

本ソフトウェアの保証期間は、ご購入後1年といたします。

（ただし「カタログ等」に別途記載がある場合を除きます。）

②保証範囲

- 1) 本ソフトウェアの使用許諾を受けたお客様が、上記保証期間中にコンピュータ・プログラムの瑕疵（マニュアルとの重要な不一致）を発見し、当社に返却した場合は、当社は瑕疵（当該マニュアルとの重要な不一致）のないコンピュータ・プログラムを記録した媒体と交換いたします。もしくは、当社の選択により、当社ホームページより瑕疵（当該マニュアルとの重要な不一致）のないコンピュータ・プログラムをダウンロードしていただく方法により提供いたします。また、当社の責任によるコンピュータ・プログラムの記録媒体の不良を発見し、当社に返却した場合、当社は、無償で、良品の媒体に記録したコンピュータ・プログラムと交換いたします。
- 2) 万一、当社がコンピュータ・プログラムの瑕疵（マニュアルとの重要な不一致）を除去できないと判断した場合は、お客様が本ソフトウェア購入代金として支払った金額をお返しいたします。

2 責任の制限

- ①前条に定める交換または購入代金の返金は、本ソフトウェアの保証責任のすべてを定めるものであり、当社は本ソフトウェアの瑕疵により発生した、お客様の直接的、間接的あるいは波及効果による損害等いかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
- ②当社は、本ソフトウェアを当社以外の第三者が変更、改造することにより生じた瑕疵につきましては、一切責任を負いません。
- ③当社は、本ソフトウェアに基づき、当社以外の第三者が開発したソフトウェアおよびそれにより生じた結果について一切の責任を負いません。

3 本ソフトウェアの用途

本ソフトウェアを本マニュアルに記載の用途以外の用途で使用しないでください。

4 仕様の変更

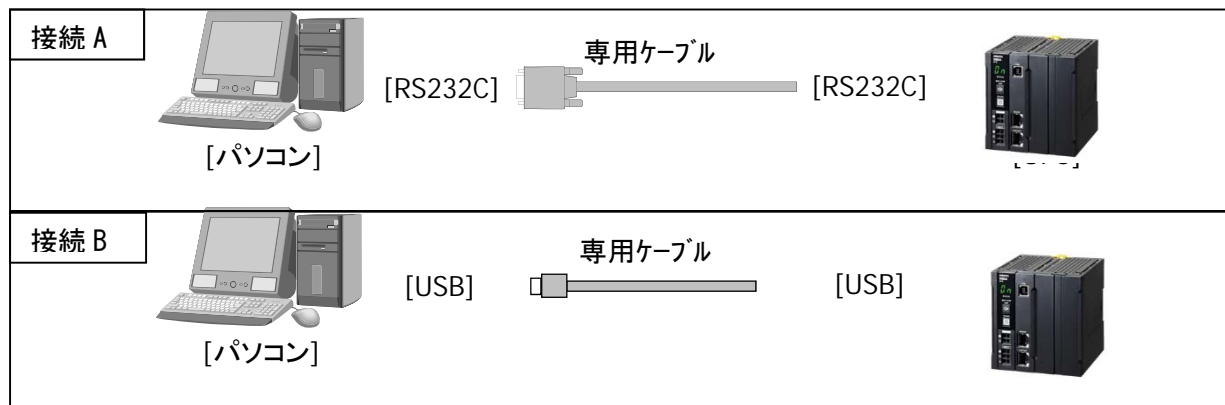
本ソフトウェアの仕様および付属品は改善またはその他の事由により、必要に応じて、変更される場合があります。

5 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

4. UPS とパソコンの接続方法

「UPS 設定ユーティリティ」を利用するには、パソコンと UPS を下記いずれかの方法にて接続します。



UPS 型式	接続方法	専用ケーブル	備考
S8BA-24D24D120LF / S8BA-24D24D240LF S8BA-24D24D360LF / S8BA-24D24D480LF S8BA-24D24D480SBF / S8BA-24D24D960SBF	接続 A	オプション S8BW-C01	
	接続 B	UPS 本体に 標準添付	





注意

「UPS 設定ユーティリティ」は、自動シャットダウンソフト (Simple Shutdown Software、PowerAct Pro、PowerAttendant Lite 等) が動作している環境では、UPS と通信することができません。





自動シャットダウンソフトがインストールされているパソコンでは、「UPS 設定ユーティリティ」を起動する前に、以下の手順で自動シャットダウンソフトのエージェントを停止し、UPS を開放してください。

また、「UPS 設定ユーティリティ」終了後は、必ず、停止したエージェントを起動してください。

■PowerActPro MasterAgent/Simple Shutdown Software の場合

- ①タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント停止] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは停止しています。
- ②タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント起動] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは起動しています。

■PowerAttendant Lite の場合

- ①タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント停止] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは停止しています。
- ②タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント起動] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは起動しています。

UPS 設定ユーティリティの使用方法

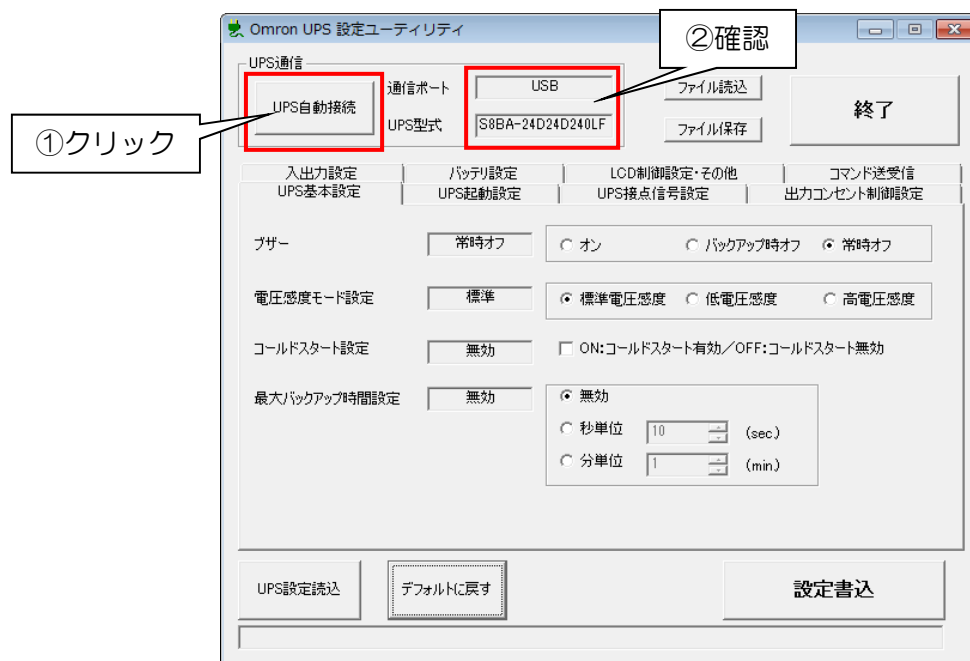
5-1. アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する

① プリケーションの起動

” UPS 設定ユーティリティ.exe ” をクリックしてください。UPS 設定ユーティリティが起動します。
(インストールの必要はありません。” UPS 設定ユーティリティ.exe ” を起動するのみで使用できます)

② UPS との通信を確立させる

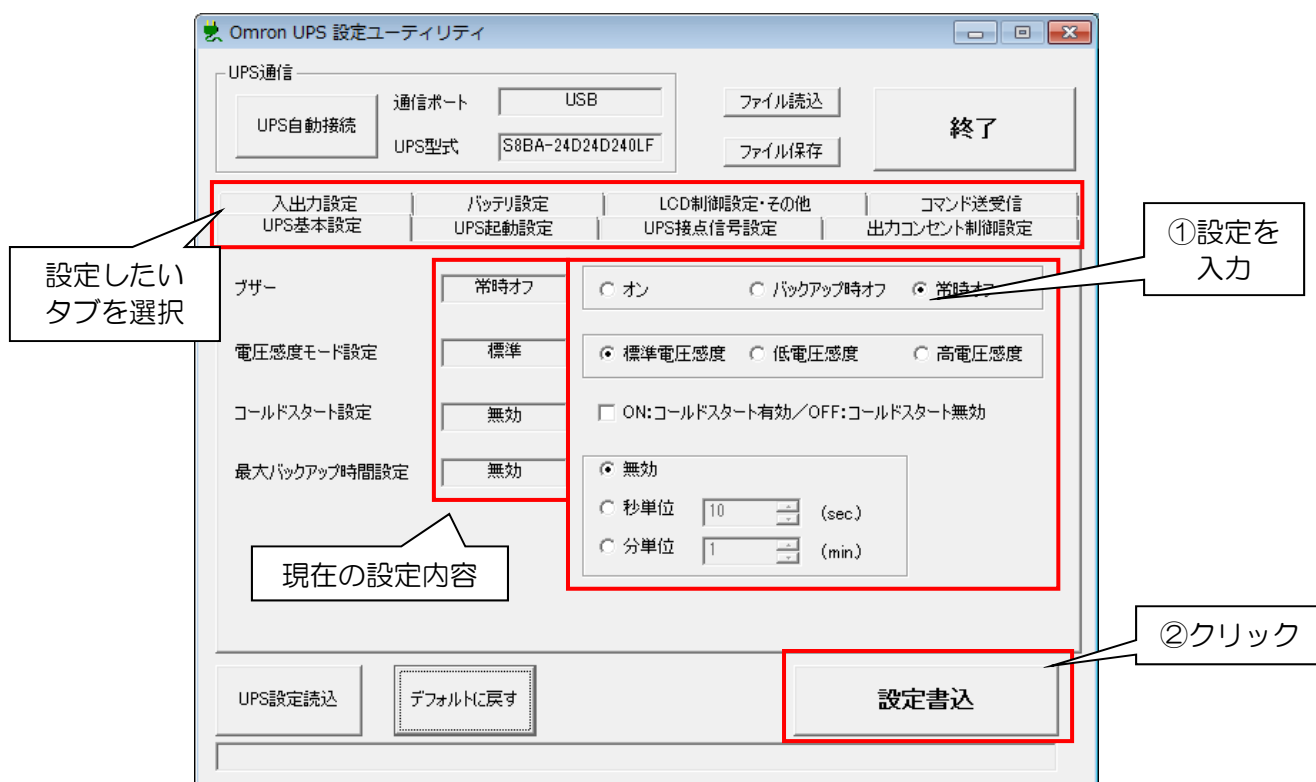
「UPS 自動接続」をクリックするとソフトは自動的にパソコンに接続されている UPS を探しにいき通信できる状態にします。なお、ソフトが UPS を見つけるのには数秒～数十秒かかります。
通信が確立されたら「通信ポート」「UPS 型式」欄に情報が正しく表示されます。もし「接続 UPS が存在しませんでした」と表示される場合は、デバイスマネージャ上で UPS が認識されていない、もしくは他のアプリケーションに通信ポートが占有されている可能性があります。



5-2. UPS の設定を変更する

③ UPS の設定を入力する

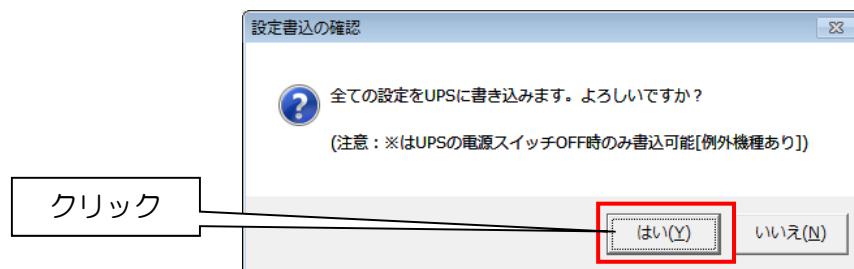
UPS の各種設定内容を入力してください。現在の設定内容はテキストボックスに表示されています。全設定を入力後「設定書込」をクリックすると変更内容が UPS に書込まれます。（各種設定の意味、設定方法等の詳細については 7 項を参照してください）



④ 設定書込みの確認をする

設定書込の確認を行ってください。“※”の設定項目は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。もしこの項目の設定変更を行う場合は UPS の電源スイッチ OFF を確認してから「はい」をクリックしてください。（“※”のついていない設定項目は UPS の電源スイッチ ON 時でも変更可能です。）なお設定書込は 5～10 秒程度かかります。“現在の設定内容”の表示が変更後の内容に更新されれば書込成功です。

※選択しているタブに関わらず変更した全ての設定が書き換わりますのでご注意ください。



⑤ 設定内容を UPS 内部の不揮発性メモリ (EEPROM) に保存する

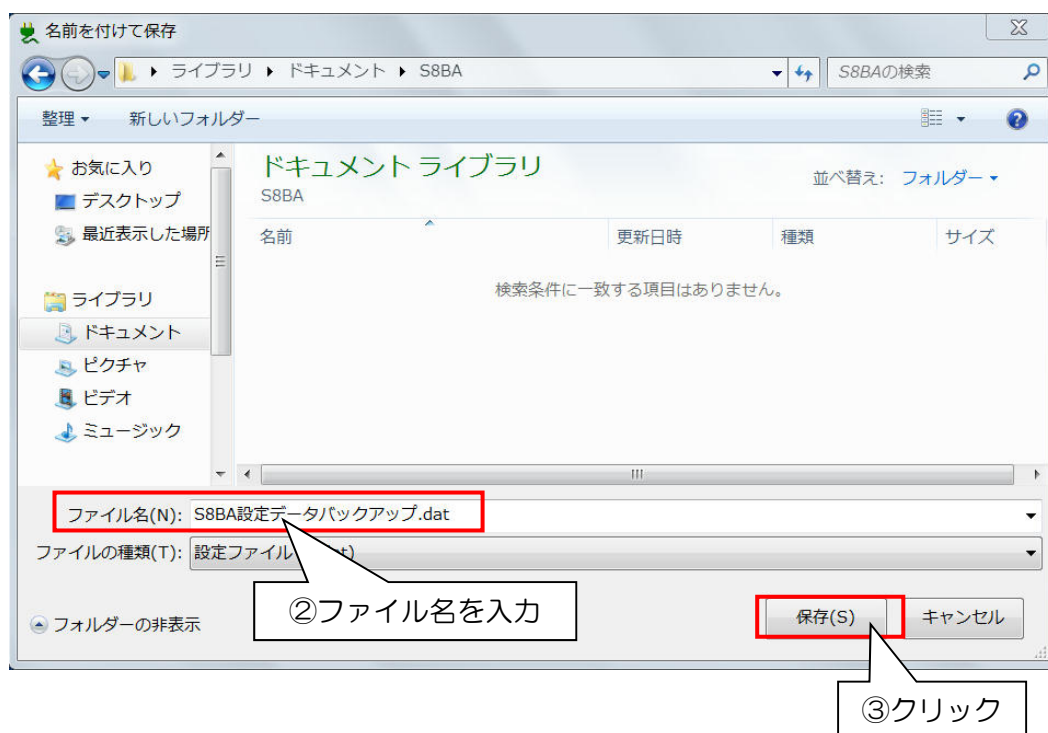
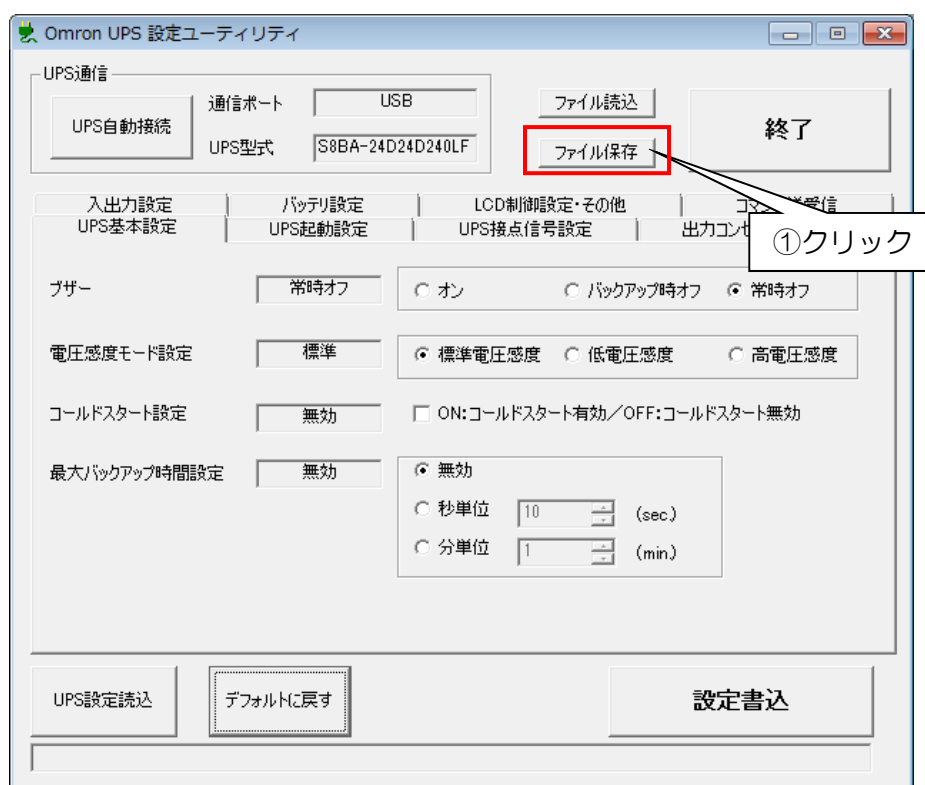
UPS の電源スイッチを OFF した後、UPS の入力電源をオフしてください。（UPS 操作表示部の「状態表示」デジタル表示器が完全に消えたことを確認してください。）設定内容が UPS 内部の不揮発性メモリ (EEPROM) に保存されます。

5-3. 設定内容のバックアップを行う

⑥ 設定内容のバックアップを行う

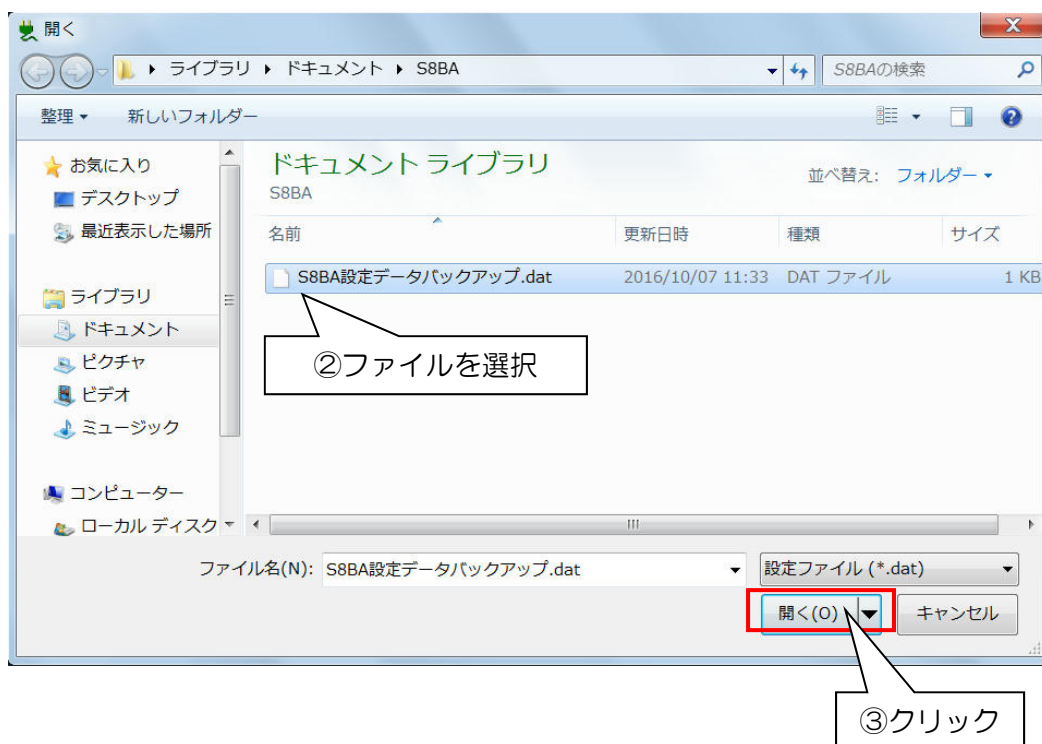
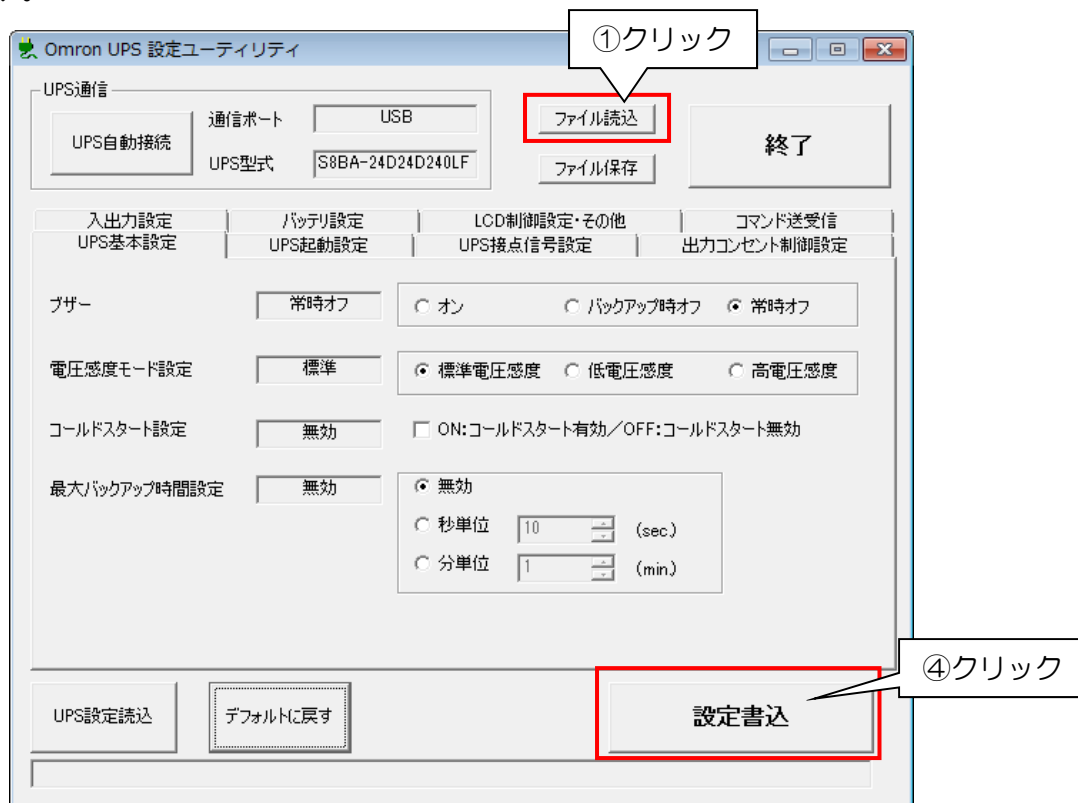
UPS の設定内容をファイルにバックアップすることができます。

バックアップを行う場合は「ファイル保存」をクリックしてください。設定内容がテキストデータで保存されます。(拡張子は".dat")



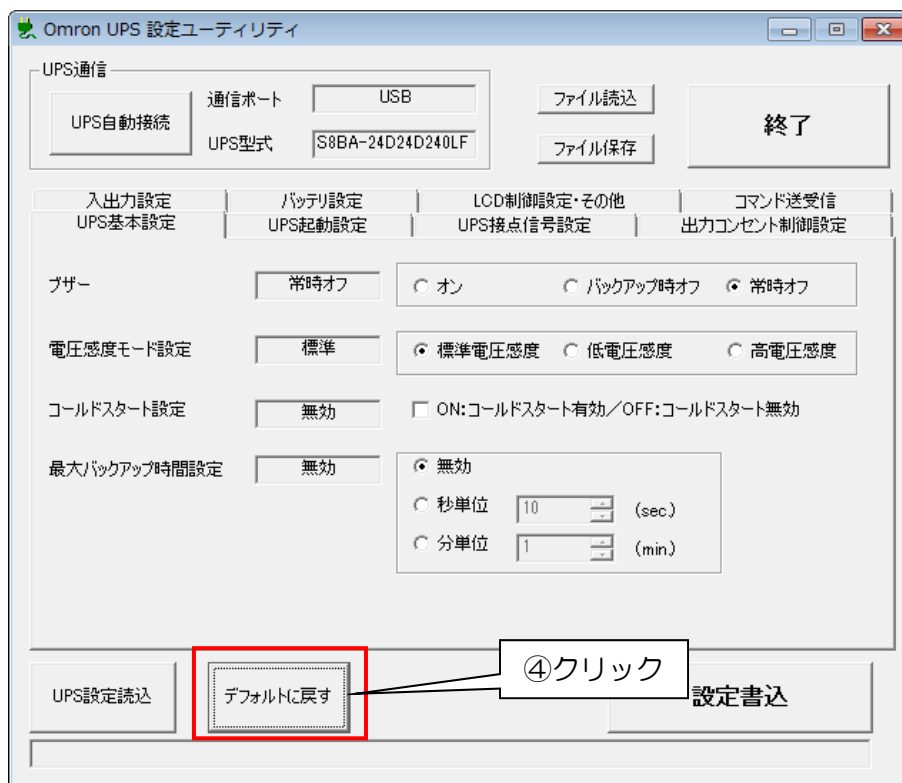
5-4. UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する

- ⑦バックアップファイルから UPS の設定を復元することができます。「ファイル読込」をクリックして、バックアップファイルを選択してください。「設定書込」をクリックするとバックアップの設定内容が UPS に書込まれます。



5-5. UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻す

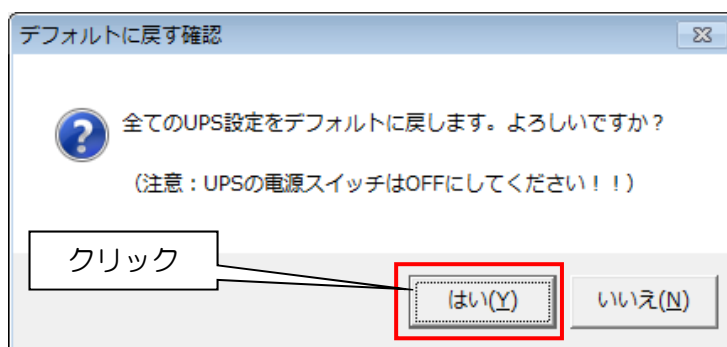
⑧UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻すことができます。「デフォルトに戻す」をクリックしてください。



⑨デフォルトに戻す確認

設定をデフォルト状態に戻すのは UPS の電源スイッチを OFF させておく必要があります。UPS の電源スイッチ OFF を確認してから「はい」をクリックしてください。なお書込は 5～10 秒程度かかります。

※選択しているタブに関わらず変更した全ての設定がデフォルト値に書き換わりますのでご注意ください。



<ご注意>

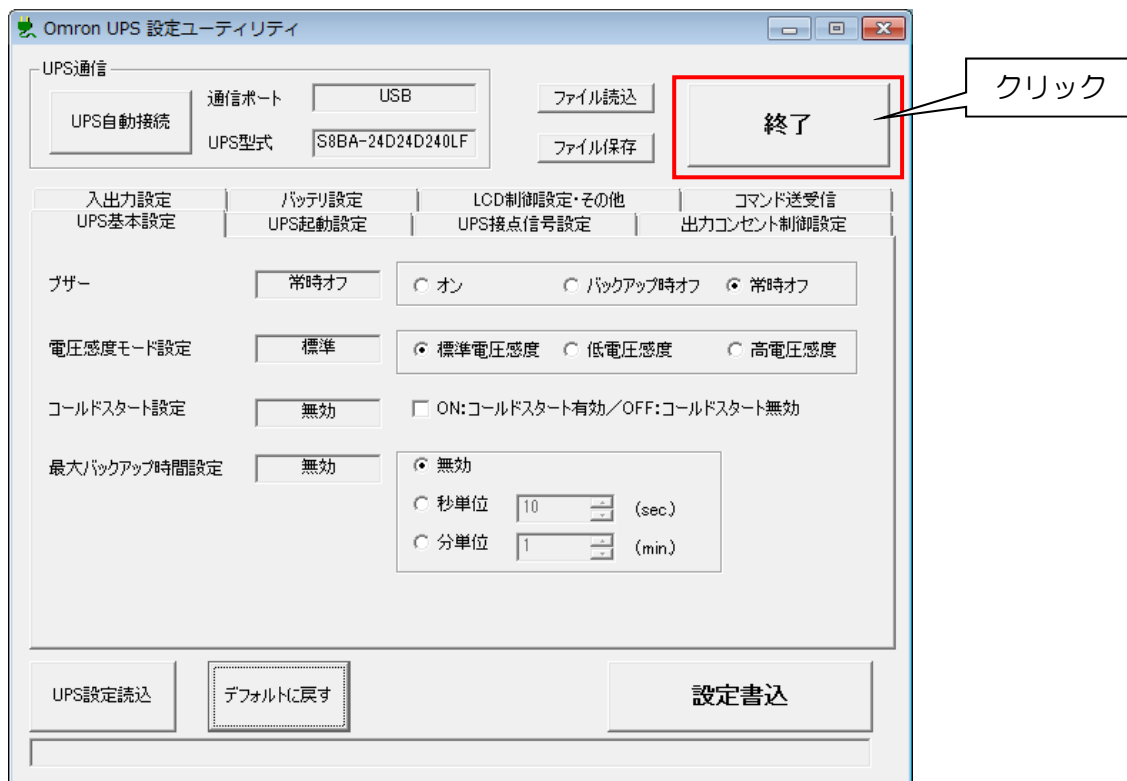
S8BA-24D24D480SBF/S8BA-24D24D960SBFはUPSに電源スイッチがありません。

このため、「デフォルトに戻す」ボタンは使用できません。

選択しているタブに関わらず「デフォルトに戻す」ボタンをクリックしないでください。

5-6. アプリケーションを終了する

⑩アプリケーションを終了するには、「終了」をクリックしてください。



5. 各種設定の詳細説明

6-1. UPS 基本設定

Omron UPS 設定ユーティリティ

UPS通信

UPS自動接続

通信ポート: USB

UPS型式: S8BA-24D24D240LF

ファイル読込

ファイル保存

終了

入出力設定 | バッテリー設定 | LCD制御設定・その他 | コマンド送受信

UPS基本設定 | UPS起動設定 | UPS接点信号設定 | 出力コンセント制御設定

(1) ブザー: 常時オフ

(2) 電圧感度モード設定: 標準

(3) コールドスタート設定: 無効

(4) 最大バックアップ時間設定: 無効

ON: コールドスタート有効 / OFF: コールドスタート無効

秒単位: 10 (sec)

分単位: 1 (min)

UPS設定読込

デフォルトに戻す

設定書込

(1) ブザー

●設定内容

バッテリーモード時、異常発生時等に UPS のブザーを「鳴らす／鳴らさない」の設定を行います。

- ・オン：ブザー有効。ブザーを鳴らします。
- ・バックアップ時オフ：バッテリーモード時、バッテリー劣化時はブザーを鳴らしません。
- ・常時オフ：ブザー無効。ブザーを鳴らしません。

※「バックアップ時オフ」もしくは「常時オフ」に設定すると、バッテリー交換時期をお知らせするブザーも鳴らなくなりますので、バッテリーの管理には十分ご注意ください。

	オン	バックアップ時オフ	常時オフ
バックアップ中	鳴らす	鳴らさない	鳴らさない
バッテリー Low 中			
バッテリー劣化時		鳴らす	
オーバーロード発生中			
オーバーロード停止時			
内部故障発生時			

●使用用途

ブザーを鳴らしたい時。

●サポート状況

UPS 型式	サポート	設定可能範囲（太字：デフォルト設定）
S8BA-24D24D□□□LF	◎	オン／バックアップ時オフ／常時オフ
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎：設定可能（本体設定可能） ○：設定可能（本体設定不可） ×：設定不可

(2) 電圧感度モード設定

●設定内容

UPS がバッテリーモードに切り替わる入力電圧感度設定を行います。

- ・標準電圧感度：標準電圧感度に設定します。
- ・低電圧感度：低電圧感度に設定します。
- ・高電圧感度：高電圧感度に設定します。

●使用用途

バッテリーモードに切り替わる電圧を変更したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポート	設定可能範囲（太字：デフォルト設定）
S8BA-24D24D□□□LF	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・標準電圧感度：入力電圧が±10%以外の時、バッテリーモードに移行します。 ・低電圧感度：入力電圧が±12.5%以外の時、バッテリーモードに移行します。 ・高電圧感度：入力電圧が±5%以外の時、バッテリーモードに移行します。
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎：設定可能（本体設定可能） ○：設定可能（本体設定不可） ×：設定不可

(3) コールドスタート設定

●設定内容

UPS のコールドスタートモードを設定します。

- ・ ON (チェックあり) : コールドスタート有効。
入力電源がなくても UPS を起動させることができます。
- ・ OFF (チェックなし) : コールドスタート無効。
入力電源がある時しか UPS を起動させることができません。

●使用用途

入力電源がない環境で UPS を電池代わりとして使用したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	◎	有効 / 無効
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

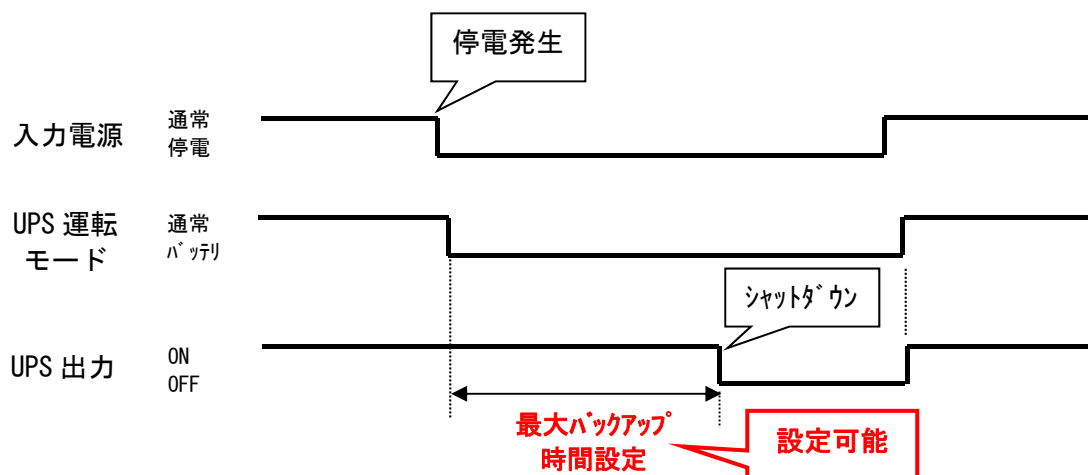
(4) 最大バックアップ時間設定

●設定内容

UPS の最大バックアップ時間を設定します。

UPS は停電発生時に、設定した時間バッテリーモードが継続した場合に出力停止します。

UPS を停止させるのにシャットダウンソフトは不要です。



●使用用途

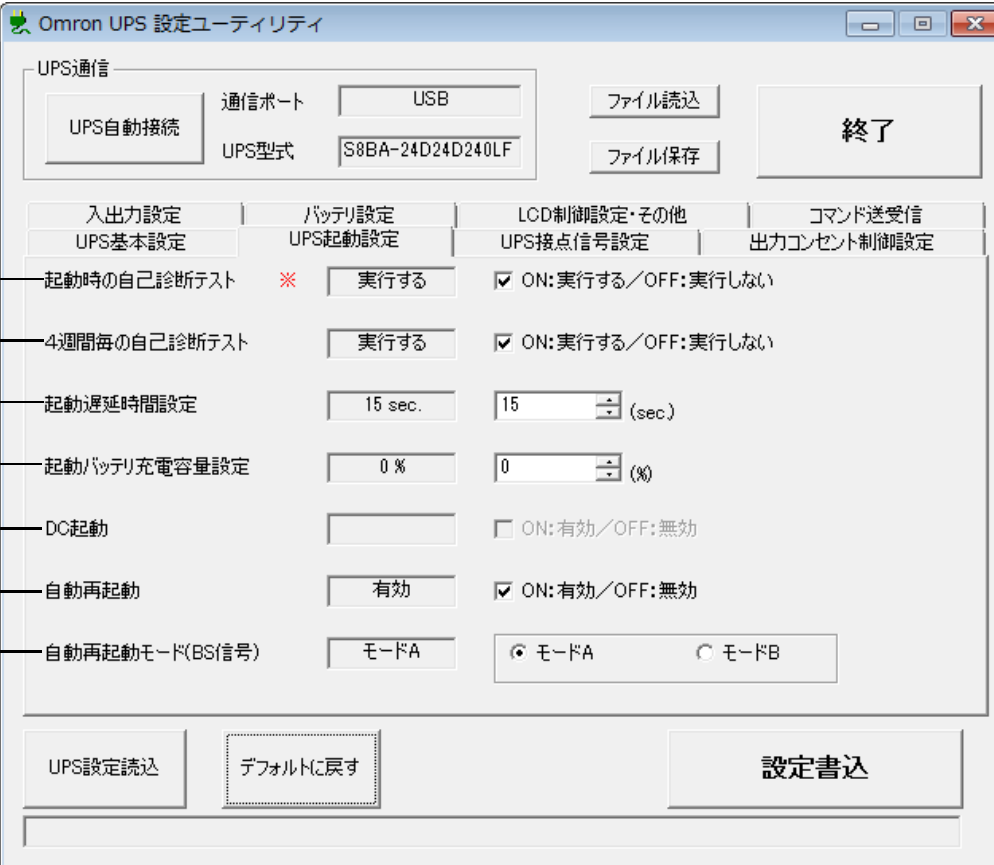
パソコン・コントローラを使用せずに一定時間経過後 UPS をシャットダウンさせたい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	無効 秒単位 : 10~59 秒 分単位 : 1~120 分

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

6-2. UPS 起動設定



(5) 起動時の自己診断テスト

●設定内容

UPSの電源ON時に自己診断テストを自動実行させるか否の設定を行います。

- ・ON (チェックあり) : UPS 起動時に自己診断テストを実行させる。
- ・OFF (チェックなし) : UPS 起動時に自己診断テストを実行させない。

●使用用途

UPS 起動時の自己診断テストを行いたくない場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	◎	実行する／実行しない
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(6) 4 週間毎の自己診断テスト

●設定内容

4 週間毎に自己診断テストを自動実行させるか否の設定を行います。

- ・ ON (チェックあり) : 4 週間毎の自己診断テストを実行させる。
- ・ OFF (チェックなし) : 4 週間毎の自己診断テストを実行させない。

●使用用途

4 週間毎の自己診断テストを行いたくない場合。

●サポート状況

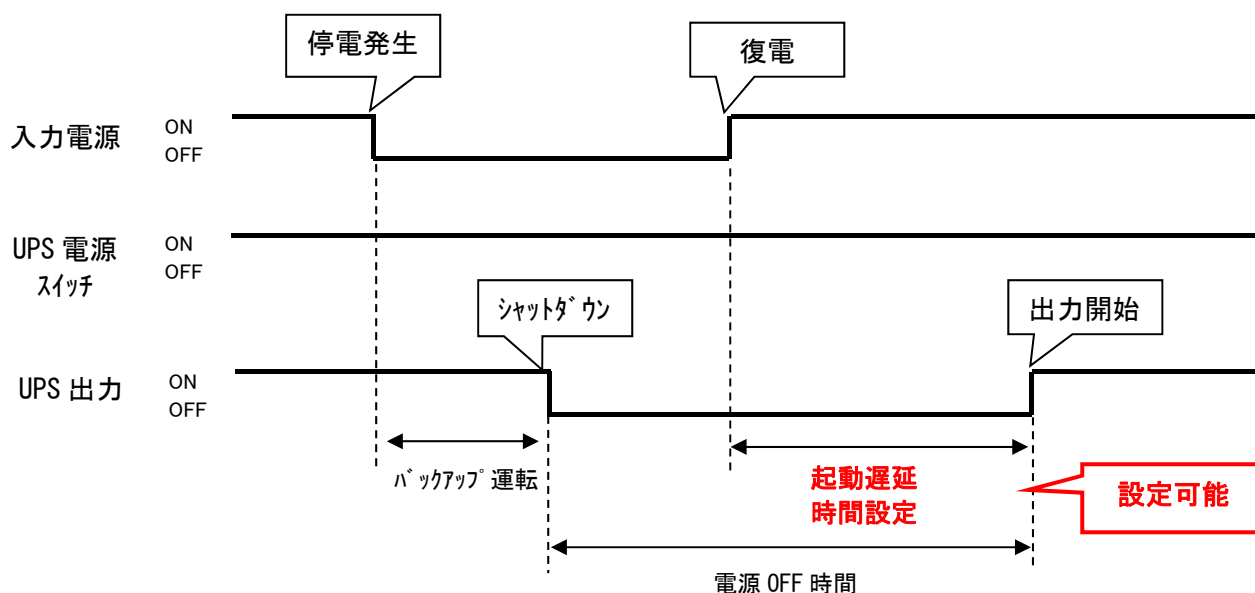
UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	◎	実行する / 実行しない
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(7) 起動遅延時間設定

●設定内容

UPS シャットダウン後、復電時に UPS を自動起動させた場合の起動遅延時間を設定します。
UPS は再起動時に設定した時間遅延して出力を開始します。



●使用用途

復電時に接続機器を再起動させる際、十分な電源 OFF 時間を設ける必要がある場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	0~999 秒	15 秒

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

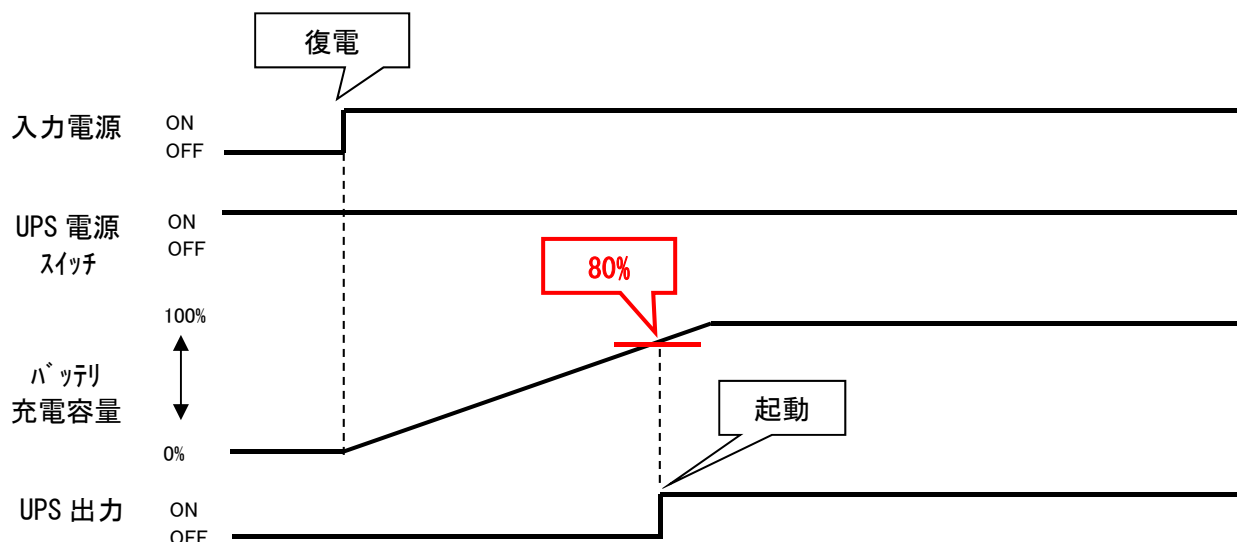
(8) 起動バッテリー充電容量設定

●設定内容

UPS が起動可能なバッテリー充電容量を設定します。

復電時でも、UPS は設定された充電容量以上になるまで起動を開始しません。

例：起動バッテリー充電容量設定を「80%」にした場合



●使用用途

UPS 起動後すぐに停電が発生しても、十分なバックアップ時間を確保したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	0~100%	0%

◎：設定可能(本体設定可能) ○：設定可能(本体設定不可) ×：設定不可

(9) DC 起動

●設定内容

DC 起動（バッテリーモードでの起動）を設定します。

- ・ON（チェックあり）：DC 起動有効。

電源スイッチ ON 時に、一旦バッテリー運転で起動し、通常運転に戻ります。

- ・OFF（チェックなし）：DC 起動無効。

電源スイッチ ON 時に、通常運転で起動します。

●使用用途

電源スイッチ ON 時に一旦バッテリー運転で起動させて、通常運転に戻る動作をさせます。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲（太字：デフォルト設定）
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎：設定可能(本体設定可能) ○：設定可能(本体設定不可) ×：設定不可

(10) 自動再起動

●設定内容

UPS シャットダウン後、復電時に自動再起動させるか否の設定を行います。

- ・ ON (チェックあり) : 復電時に自動再起動させます。
- ・ OFF (チェックなし) : 復電時に自動再起動させません。

●使用用途

復電時に UPS を自動再起動させたくない場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	実行する / 実行しない

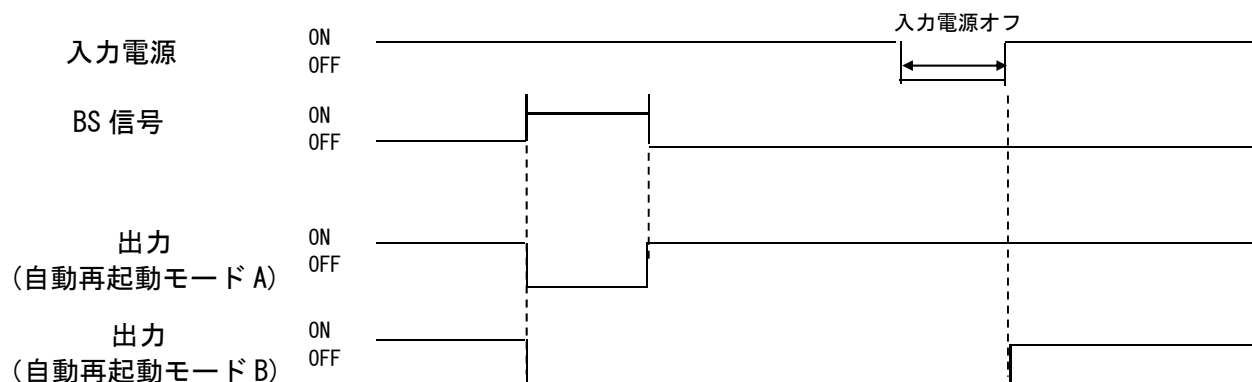
◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(11) 自動再起動モード

●設定内容

BS 信号で UPS シャットダウン後の、自動再起動モードを設定します。

- ・ モード A : 自動再起動モードを「モード A」に設定します。
BS 信号でシャットダウン後、入力電源 ON を検知したら直ちに再起動します。
- ・ モード B : 自動再起動モードを「モード A」に設定します。
BS 信号でシャットダウン後、入力電源 OFF→ON を検知したら再起動します。



●使用用途

終業時、BS 信号で UPS を停止させてシステムを終了させ、最後に入力電源 OFF させる。

翌朝入力電源 ON で UPS を自動起動させたい場合に、「モード B」に設定する。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	◎	モード A / モード B
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

6-3. UPS 接点信号設定

Omron UPS 設定ユーティリティ

UPS通信

UPS自動接続

通信ポート: USB

UPS型式: S8BA-24D24D240LF

ファイル読み込み

ファイル保存

終了

入出力設定	バッテリー設定	LCD制御設定・その他	コマンド送受信
UPS基本設定	UPS起動設定	UPS接点信号設定	出力コンセント制御設定
(12) BS信号遅延時間設定	※ 0 sec.	0 (sec) 9999=無効	
(13) BU信号遅延時間設定	0 sec.	0 (sec)	
(14) BS信号許可モード	全モード	<input type="checkbox"/> ON: バッテリモードのみ / OFF: 全モード	
(15) リモート信号動作	ショート時オフ	ショート時オフ	
(16) 接点信号論理	全部通常論理	<input type="checkbox"/> BU 反転 <input type="checkbox"/> TR 反転 <input type="checkbox"/> BL 反転 <input type="checkbox"/> WB 反転	

UPS設定読み込み

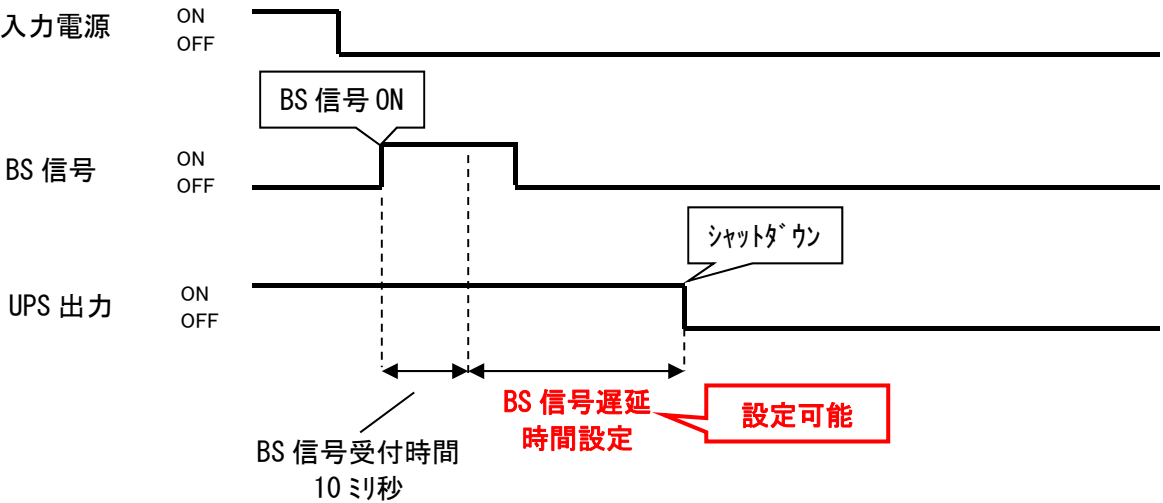
デフォルトに戻す

設定書込

(12) BS 信号遅延時間設定

●設定内容

BS 信号（電源出力停止信号）入力を受付けてから UPS の電源出力を停止させるまでの遅延時間を設定します。UPS は BS 信号の入力受付け後、設定時間分待ってから UPS の出力を停止します。



●使用用途

UPS から電源をとっているパソコン・PLC などから BS 信号にてシャットダウンさせる場合。
（BS 信号入力後に自分自身をシャットダウンさせてから UPS を停止させたい場合）

●サポート状況

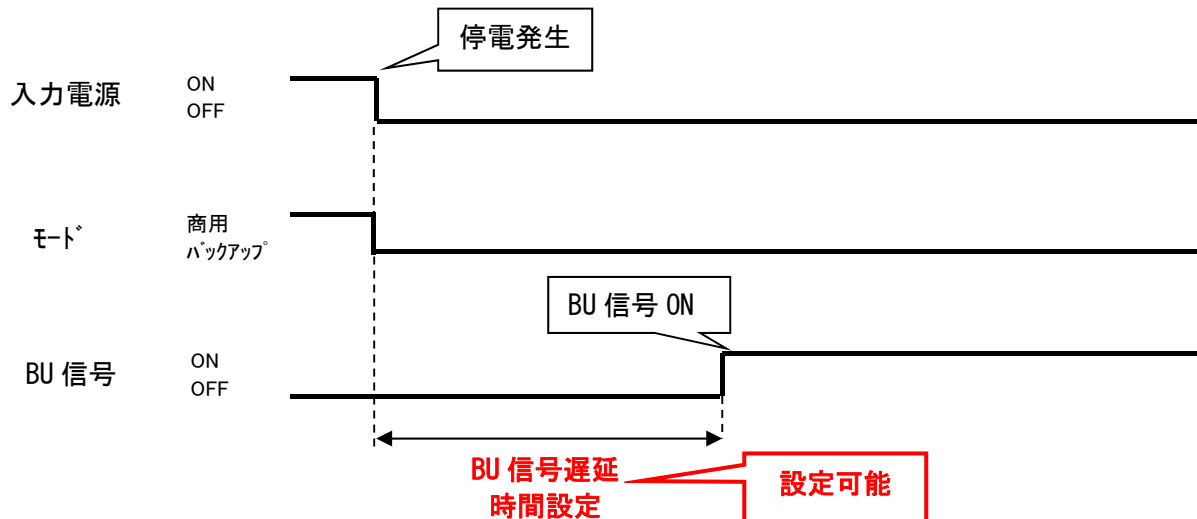
UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	0～9000 秒	0 秒

◎：設定可能（本体設定可能） ○：設定可能（本体設定不可） ×：設定不可

(13) BU 信号遅延時間設定

●設定内容

停電が発生時、バッテリーモードに移行してから BU 信号を ON させるまでの遅延時間を設定します。UPS はバッテリーモードに移行後、設定時間分待ってから BU 信号を ON させます。



●使用用途

バッテリーモード移行後、一定時間経過してからシャットダウンを実行させたい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポート	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	0~180 秒	0 秒

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(14) BS 信号許可モード

●設定内容

BS 信号入力を許可するモードを設定します。

- ・ ON (チェックあり) : バッテリーモードのみ BS 信号入力を受け付けます。
- ・ OFF (チェックなし) : 全モード BS 信号入力を受け付けます。


●使用用途

BS 信号による停止をバッテリーモード時のみに制限したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポート	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	バッテリーモードのみ / 全モード

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

(15) リモート信号動作

●設定内容

リモート ON/OFF 信号の入力論理設定を行います。

- ・ショート時オフ：リモート ON/OFF 端子間がショート時に出力をオフさせます。
- ・オープン時オフ：リモート ON/OFF 端子間がオープン時に出力をオフさせます。
- ・無効：リモート ON/OFF の機能を無効にします。

●使用用途

リモート ON/OFF 信号の入力論理を反転させたい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	ショート時オフ / オープン時オフ / 無効

◎：設定可能 (本体設定可能) ○：設定可能 (本体設定不可) ×：設定不可

(16) 接点信号論理

●設定内容

CONTACT ポート出力信号の出力論理設定を行います。

- ・ON (チェックあり)：反転出力
- ・OFF (チェックなし)：通常出力

●使用用途

出力信号の出力論理を反転させたい場合

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	反転出力 / 通常出力

◎：設定可能 (本体設定可能) ○：設定可能 (本体設定不可) ×：設定不可

6-4. 出力コンセント制御設定

Omron UPS 設定ユーティリティ

UPS通信
☐ UPS自動接続
 通信ポート: USB
 UPS型式: S8BA-24D24D240LF
 ファイル読み込み
 ファイル保存
 終了

入出力設定 バッテリ設定 LCD制御設定・その他 コマンド送受信
 UPS基本設定 UPS起動設定 UPS接点信号設定 出力コンセント制御設定

(17) (18)

コンセントA 出力開始遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

コンセントA 出力停止遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

コンセントB 出力開始遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

コンセントB 出力停止遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

コンセントC 出力開始遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

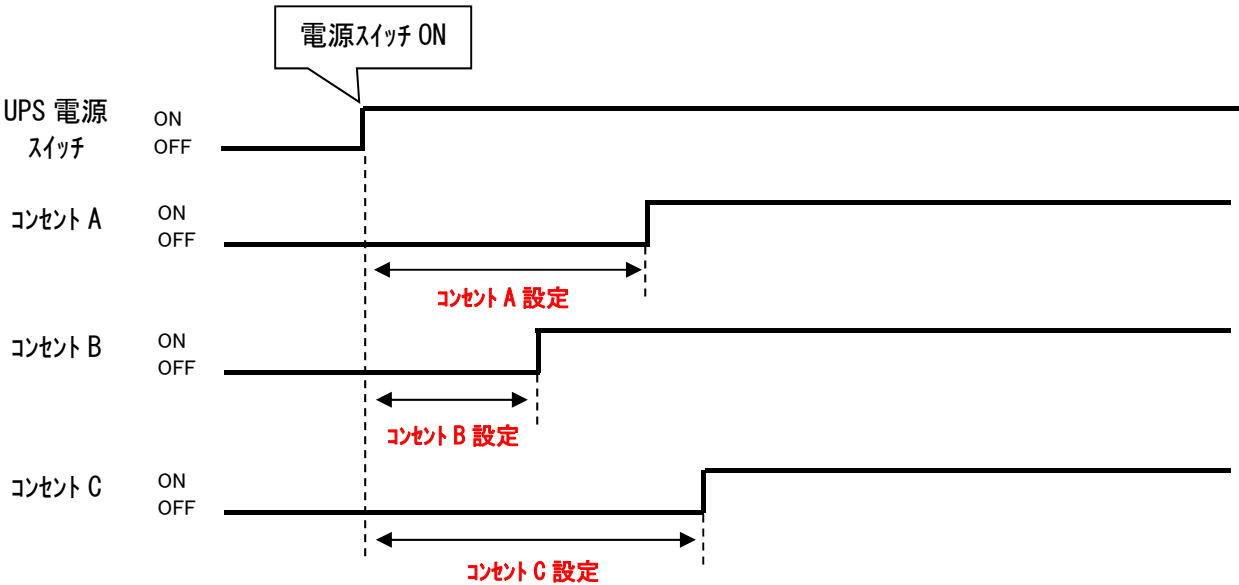
コンセントC 出力停止遅延時間設定
 ☒ 設定しない
☐ 秒単位 0 (sec)
☐ 分単位 0 (min)

UPS設定読み込み デフォルトに戻す 設定書込

(17) コンセント A/B/C 出力開始遅延時間設定

●設定内容

UPS 起動時、各コンセントの出力開始遅延時間を設定します。UPS は起動時に設定時間分待ってから出力コンセントの出力を開始します。コンセント毎に設定可能です。



●使用用途

UPS 起動時、時間差をつけて接続機器を起動させたい場合。

例 1：ストレージを起動させて 2 分後にサーバを起動させてマウントミスを防ぐ。

例 2：時間差をつけて接続機器を起動させることで発生する突入電流を抑える。

●サポート状況

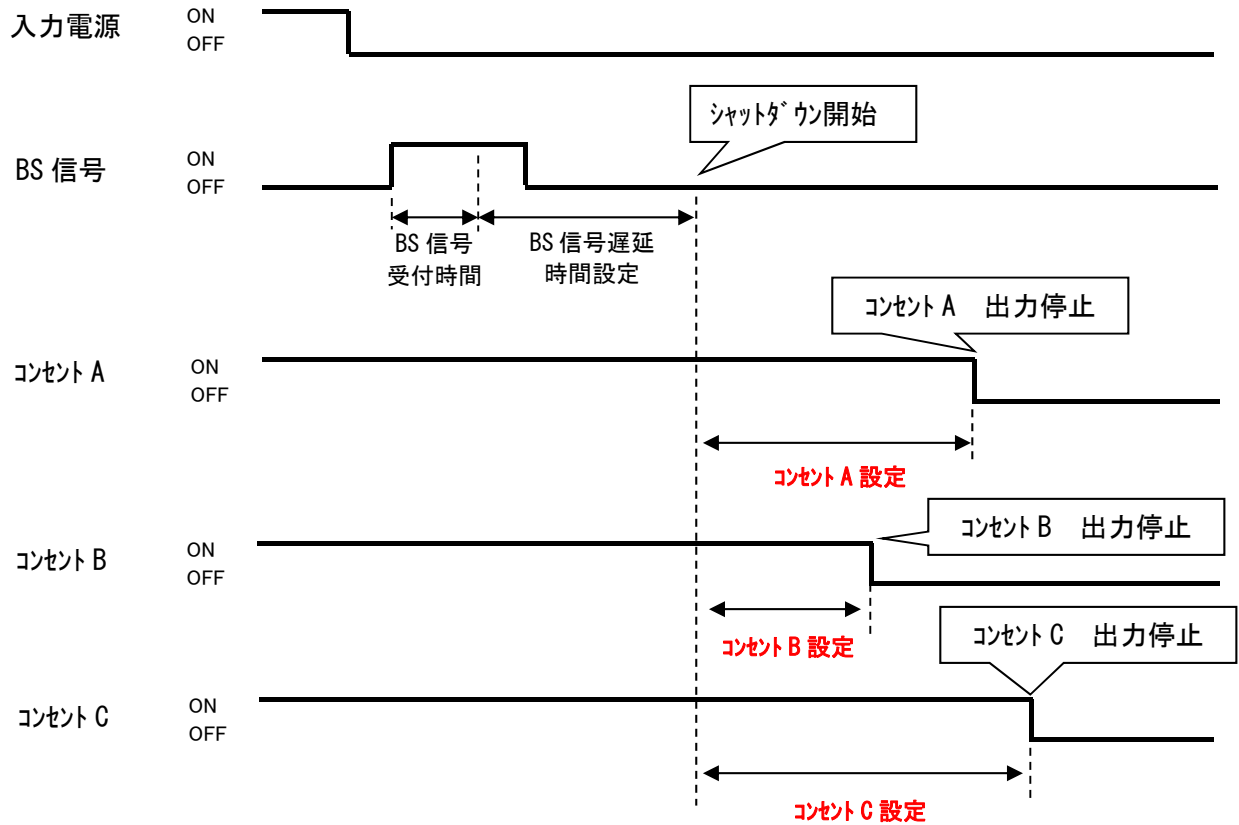
UPS 型式	サポート	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎：設定可能 (本体設定可能) ○：設定可能 (本体設定不可) ×：設定不可

(18) コンセント A/B/C 出力停止遅延時間設定

●設定内容

UPS シャットダウン時、各コンセントの出力停止遅延時間を設定します。UPS はシャットダウン時に設定時間分待ってから出力コンセントの出力を停止します。コンセント毎に設定可能です。



●使用用途

UPS シャットダウン時、時間差をつけて接続機器を停止させたい場合。

例：システムの都合上、機器を停止する順番に制約がある場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎：設定可能(本体設定可能) ○：設定可能(本体設定不可) ×：設定不可

6-5. 入出力設定

(19) 出力電圧設定

●設定内容

UPS の出力電圧を設定します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

●使用用途

出力電圧値を変更したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	— (24V 出力のみ)

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(20) 周波数同期モード

● 設定内容

UPS の周波数同期モードを設定します。

● 使用用途

周波数同期モードを変更したい場合

● サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(21) ECO モード

● 設定内容

ECO モードの有効/無効を設定します。

- ・ ON (チェックあり) : ECO モードを有効に設定します。
- ・ OFF (チェックなし) : ECO モードを無効に設定します。

● 使用用途

ECO モードに設定したい場合。

● サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(22) 入力プラグ

● 設定内容

UPS の入力プラグの電流容量を設定します。

● 使用用途

入力プラグを変更した場合。

● サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(23) 切替感度

● 設定内容

UPS が瞬低と判断する瞬低検出感度を設定します。

- ・ 標準 (1ms で切替) : 標準切替感度 (瞬低 1ms で検出) に設定します
- ・ 高感度 (最速で切替) : 高切替感度 (瞬低 1ms 以下で検出) に設定します

● 使用用途

瞬低切替感度を変更したい場合

● サポート状況

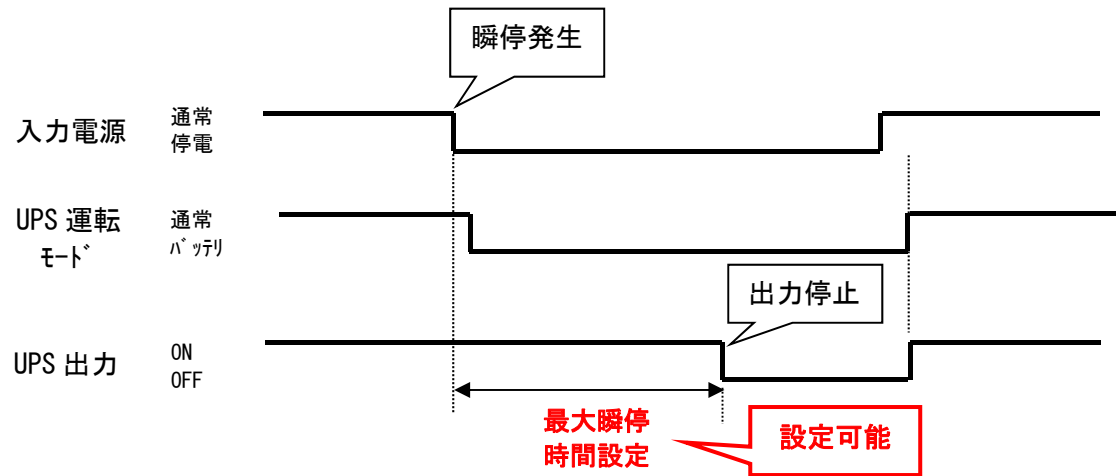
UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(24) 最大瞬停時間

● 設定内容

UPS の最大瞬停時間を設定します。
UPS は瞬停発生時に、設定した瞬停時間を検知すると直ちに出力を停止します。
UPS を停止させるのにシャットダウンソフトは不要です。




● 使用用途

UPS を瞬停保護装置の用途として使用する場合

● サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	○	秒単位: 0~9 秒 ※"0"に設定した場合は「無効 (出力停止しない)」 設定 (デフォルト) となります
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎: 設定可能 (本体設定可能) ○: 設定可能 (本体設定不可) ×: 設定不可

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

(25) 電源スイッチ機能

●設定内容

UPS の電源スイッチをオフさせた場合の動作モードを設定します。

- ・ UPS シャットダウン : UPS シャットダウンを実行します。
- ・ UPS+PC シャットダウン : UPS+PC シャットダウンを実行します。

[UPS シャットダウン] 設定時の動作

- ① 電源スイッチをオフ (3 秒長押し) します。
- ② UPS の出力が停止します。

[UPS+PC シャットダウン] 設定時の動作

- ① 電源スイッチをオフ (3 秒長押し) します。
- ② 各通信ポートよりシステムに対して「シャットダウン指令」を出します。
 - ・ USB ポート/RS232C ポート : SimpleShutdownSoftware (※1) に対して「停電通知」をします。
 - ・ CONTACT ポート : BU 信号がオンします。
- ③ 「シャットダウン指令」を受けて、システムがシャットダウン (※2) を行います。
- ④ UPS はシステムからのシャットダウン指令に従って、出力を停止します。

※1 標準の自動シャットダウンソフトです。

※2 本設定は停電時にシャットダウンするシステムのみ有効です。

※3 電源スイッチを 6 秒以上長押しすると、強制的に UPS の出力を停止します。

●使用用途

電源スイッチオフで、システム全体をシャットダウンさせたい場合。

●サポート状況

UPS 型式	ポート	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF	◎	[UPS シャットダウン] / [UPS+PC シャットダウン]
S8BA-24D24D□□□SBF	×	

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

6-6. バッテリ設定



(26) バッテリ寿命カウンタ

●設定内容

バッテリー寿命カウンタの有効／無効を設定します。

- ・ON（チェックあり）：バッテリー寿命カウンタを有効に設定します。
バッテリーが交換時期に到達したらアラームを発生させます。
- ・OFF（チェックなし）：バッテリー寿命カウンタを無効に設定します。

●使用用途

バッテリー寿命カウンタの機能をオフさせたい時。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲（太字：デフォルト設定）
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	◎	有効／無効

◎：設定可能（本体設定可能） ○：設定可能（本体設定不可） ×：設定不可

(27) UPS 寿命カウンタ

●設定内容

UPS 寿命カウンタの有効／無効を設定します。

- ・ ON (チェックあり) : UPS 寿命カウンタを有効に設定します。
UPS が寿命に到達したらアラームを発生させます。
- ・ OFF (チェックなし) : UPS 寿命カウンタを無効に設定します。

●使用用途

UPS 寿命カウンタの機能をオフさせたい時。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	有効／無効

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(28) バッテリロー検出レベル

●設定内容

バッテリローアラームの検出レベルを設定します。

バッテリモード時、バッテリ電圧が設定値以下になった場合、バッテリローアラームを発生します。

●使用用途

バッテリローアラームの検出タイミングを変更したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	0~100%	30%

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(29) UPS 設置日

●設定内容

UPS の設置日を設定します。

設定値は覚書です。設定値による UPS 動作への影響はありません。

●使用用途

UPS の設置日を記録したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	年/月/日	0000/00/00

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(30) バッテリ交換日

●設定内容

バッテリ交換日を設定します。

設定値は覚書です。設定値による UPS 動作への影響はありません。

●使用用途

バッテリ交換日を記録したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲	デフォルト設定
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	年/月/日	0000/00/00

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

6-7. LCD 制御設定・その他



(31) 表示言語

●設定内容

LCD パネルの表示言語を設定します。

- ・日本語：表示言語を日本語に設定します。
- ・英語：表示言語を英語に設定します。

●使用用途

LCD パネルの表示言語を変更したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎：設定可能 (本体設定可能) ○：設定可能 (本体設定不可) ×：設定不可

(32) LCD 自動オフ

●設定内容

LCD パネルの画面自動オフ動作を設定します。


●使用用途

LCD パネルの画面自動オフ動作を変更したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎：設定可能 (本体設定可能) ○：設定可能 (本体設定不可) ×：設定不可

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

(33) メモ

●設定内容

メモの表示内容を設定します。

●使用用途

メモの表示内容を設定したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(34) 内蔵時計

●設定内容

UPS 内蔵時計の時間を設定する。

●使用用途

UPS 内蔵時計の時間を設定したい場合。

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

(35) ログ件数

●設定内容

内部ログデータを消去する

●使用用途

内部ログデータを消去したい場合

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字 : デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	×	—

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

6-8. コマンド送受信



(36) コマンド送受信

●機能

UPS に対して任意のコマンドを送受信することができます。

- ・コマンド入力：UPS に送信したいコマンドを入力します。
- ・コマンド送信：このボタンをクリックするとコマンドが送信されます。
- ・レスポンスデータ：UPS からのレスポンスデータを表示します。

●コマンド例

① バッテリー容量を確認したい時

- ・コマンド名：BI_? (" _" はスペース)
- ・レスポンスデータ：PPP<cr> / 単位：%、範囲＝000～100%。

② 製品シリアル番号を確認したい時

- ・コマンド名：PSNR
- ・レスポンスデータ：#####<cr>

③ 自己診断テストを強制的に実行したい時 (S8BA-24D24D□□□SBFは未対応)

- ・コマンド名：T
- ・レスポンスデータ：OK<cr>

④ バッテリ交換日を読み出したいとき

- ・コマンド名：BRR
- ・レスポンスデータ：#####<cr>

⑤ バッテリ交換日を書込みたいとき

- ・ コマンド名 : BRW#####<cr> (#は YYYYMMDD)
- ・ レスポンスデータ : OK<cr>

⑥ 入力電源状態の履歴情報を読み込みたいとき

- ・ コマンド名 : DIC<n><cr>
- ・ レスポンスデータ : “注記”参照

<注>

- 電源スイッチがオン状態のとき、UPS は“入力電源状態”を UPS 内にある EEP-ROM に自身で記録する。その後、UPS が本コマンドを受信すると、UPS は記録したデータを PC に送信する。
- “<n>” は、“0” ~ “9”である。
この数字は記録番号を意味する。
UPS は最新 10 件のデータしか記録しない。
No. 0 は最新データ、No. 9 は最も古いデータである。
- データフォーマットと意味は下記の通り。
[データフォーマット] \$:ZZNNNNNNNN<cr>
応答データの意味は下記の通り

項	データ	意味	設定データ
(a)	\$	データ番号	0 ~ 9
(b)	:	区切り文字	:
(c)	ZZ	検知コード	01~04 (下記参照)
NNNNNNNN	カウンタ 値	0x0000~0xFFFFFFFF 単位 : 秒 TOT カウンタの値を記録する	NNNNNNNN

[検知コード]

コード	入力電源状態	備考
01	UPS 出力オン状態で入力電源異常	UPS 正常動作モード
02	UPS 出力オン状態で入力電源回復	UPS 正常動作モード
03	UPS 出力オフ状態で入力電源異常	UPS スケジュールオフ状態
04	UPS 出力オフ状態で入力電源回復	UPS スケジュールオフ状態

⑦ UPS をバッテリーモードにする。または、ラインモードへ戻したいとき

- ・ コマンド名 : FBM<n><cr> <n>: 0, 1
- ・ レスポンスデータ : OK<cr>

- <n>は、UPS 状態の番号である。
 - UPS がバッテリーモードのときに“FBM0”を受信した場合、UPS はラインモードに移行する。
 - UPS がラインモードのときに“FBM1”を受信した場合、UPS はバッテリーモードに移行する。

⑧UPSの状態を確認したいとき

- ・ コマンド名: Q1<cr>
- ・ レスポンスデータ: (MMM. M_NNN. N_PPP. P_QQQ_RR. R_ SS. S_TT. T_U<cr>

[詳細]

項	データ	内容	単位
(a)	“(“	スタートコード	---
(b)	MMM. M	入力電圧	V rms
(c)	NNN. N	入力異常電圧	V rms
(d)	PPP. P	出力電圧	V rms
(e)	QQQ	出力負荷	%
(f)	RR. R	入力周波数	Hz
(g)	SS. S	バッテリー電圧	V dc
(h)	TT. T	UPS 内部温度	°C
(i)	U	UPS 状態	(8 ビット)

“U” は 8 ビットの 2 進数である。

各ビットの意味は以下の通り。

ビット#	内容		
	意味	“1”	“0”
7	入力電源状態	入力電源異常	正常
6	バッテリーレベル	バッテリーロー	正常
5	バイパスアクティブ	バイパス運転中 (商用運転時)	インバータ運転中 (バッテリー運転時)
4	自己診断テスト結果	異常	正常
3	UPS タイプ	オフライン	オンライン
2	テストフラグ	テスト中	テスト中でない
1	シャットダウンアクティブ	タイマーアップ待ち	正常
0	バッテリー状態	劣化状態	正常

⑨UPS の型式名を確認したいとき

- ・ コマンド名: Si_?<cr> 注記: “_”は空白文字 1 個を意味する
- ・ レスポンスデータ: #####<cr>

⑩ UPS 総バックアップカウンタ値を読みみたいとき

- ・ コマンド名: TBN_?<cr> 注記: “_”は空白文字 1 個を意味する
- ・ レスポンスデータ: #####<cr> #####の単位: 回 (00000 ~ 99999)

⑪UPS 動作の総時間(総稼働時間)を読みみたいとき

- ・ コマンド名: TOT_?<cr> 注記: “_”は空白文字 1 個を意味する
- ・ レスポンスデータ: #####<cr>

<注>

- #####の単位は 秒 で範囲は 0x0000~0xFFFFFFFF (16 進数)。
※10 進数だと 0~4294967295 秒

⑫ バッテリーの温度を確認したいとき (S8BA-24D24D□□□SBFは未対応)

- ・ コマンド名: TPb<n><cr>
- ・ レスポンスデータ: #\$. \$<cr>

<注>

- 1) “<n>”はバッテリーユニット番号を示す。1 ユニット目のバッテリー電圧を読み込む場合は”1”、2 ユニット目なら”2”。
- 2) “#” は “-” または “+”、そして “\$” は “0” ~ “9” である。
- 3) 値の単位は “°C” である。

⑬ UPS の内部温度を確認したいとき (S8BA-24D24D□□□SBFは未対応)

- ・ コマンド名: TPc<cr>
- ・ レスポンスデータ: #\$. \$<cr>

<注>

- 1) “#” は “-” または “+”、そして “\$” は “0” ~ “9” である。
- 2) 値の単位は°Cである。

⑭ 現在の UPS の故障状態を確認したいとき

- ・ コマンド名: TRS<cr>
- ・ レスポンスデータ: “##”<cr>

<注>

- 1) “#” は “0” ~ “9” である。
- 2) 現在の UPS 状態が通常の（故障状態でない）場合、UPS は“00<cr>”を返す。
- 3) 現在の UPS 状態が故障状態の場合、UPS はこの故障コードを返す。
UPS が過去故障を検知していたとしても、その故障が現在発生していなければ、UPS は故障コードを返さない。
- 4) 故障コードは UAS 故障コードと同じである。

⑮ 故障履歴を讀出したいとき

- ・ コマンド名: UAS<n><cr>
- ・ レスポンスデータ: “注記”参照

<注>

- 1) UPS は故障履歴を UPS 内の EEPROM に自身で記録する。本コマンドを受信したとき、その時に記録されているデータを返す。
- 2) “<n>” は“0” ~ “9” である。この数字は履歴番号を意味する。UPS は最新 10 件の故障データのみを記録している。No. 0 は最新データ、No. 9 は最も古いデータである。
- 3) データ形式と意味は以下の通り。

[データ形式] \$:ZZNNNNNNNN<cr>

応答データの意味は以下の通り。

項	データ	意味	設定データ
\$	データ番号	0 ~ 9	\$
:	区切り	:	:
ZZ	故障コード	01~20 (下記参照)	ZZ
NNNNNNNN	カウンタ値	0x0000~0xFFFFFFFF 単位: 秒 TOT カウンタの値を記録する	NNNNNNNN

[故障コード]

故障 コード	意味
01	出力過電圧
02	インバータ回路異常
03	出力短絡
04	過負荷タイムアウト
05	バッテリー過充電
06	バッテリー充電不足
07	高温異常
10	内部 CPU 通信エラー
11	出力低電圧
13	バッテリー接続数異常
14	CPU 動作異常
15	出力電圧アンバランス異常
16	充電電流オーバー
17	過負荷
18	バッテリー劣化
19	バッテリー切れ
20	バッテリー温度異常
21	UPS 寿命カウンタアップ
29	CPU 異常 (例外割り込み、WDT)

⑩出力シャットダウン履歴情報を取得したいとき

- ・コマンド名: UOS<n><cr>
- ・レスポンスデータ: “注記”参照

<注>

- UPS は出力シャットダウン履歴を EEPROM に記録する。本コマンドを受信したとき、記録されているデータを返す。
- “<n>” は “0” ～ “9” である。
この数字は履歴番号を意味する。UPS は最新 10 件の履歴データのみを記録している。
No. 0 は最新データ、No. 9 は最も古いデータである。

- データ形式と意味は以下の通り。


[データ形式] \$:ZZNNNNNNNN<cr>

応答データの意味は以下の通り。

項	データ	意味	設定データ
(a)	\$	データ番号	0 ～ 9
(b)	:	区切り	:
(c)	ZZ	シャットダウンコード	01～08 (下記参照)
NNNNNNNN	カウンタ 値	0x0000～0xFFFFFFFF 単位: 秒 TOT カウンタの値を記録する	NNNNNNNN

[シャットダウンコード]

コード	シャットダウン理由	備考
01	電源スイッチオフ	
02	S コマンド	
03	Sf コマンド	
04	SR コマンド	

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

05	Scr コマンド	
06	BS 信号	
07	リモートオン/オフ信号	
08	異常状態	検知条件は UAS コマンドと同じ
09	BUT コマンド	
10	MLT コマンド	
11	放電終止	

⑰UPS 設置日を読み込みたいとき

- ・ コマンド名: UIR<cr>
- ・ レスポンスデータ: #####<cr>

<注記>

- 1) “#” は “0” ~ “9” である。
“#####” = “YYYYMDD” : YYYY (年) / MM (月) / DD (日)

⑱UPS 設置日を書き込みたいとき

- ・ コマンド名: UIW#####<cr>
- ・ レスポンスデータ: OK<cr>

⑲UPS 寿命カウンタを読み込みたいとき

- ・ コマンド名: ULR<cr>
- ・ レスポンスデータ: #####<cr>

⑳バッテリー寿命カウタを読み込みたいとき

- ・ コマンド名: YBR<cr>
- ・ レスポンスデータ: #####<cr>

●サポート状況

UPS 型式	サポ-ト	設定可能範囲 (太字: デフォルト設定)
S8BA-24D24D□□□LF / SBF	○	—


◎: 設定可能 (本体設定可能) ○: 設定可能 (本体設定不可) ×: 設定不可

(一部のコマンドはS8BA-24D24D□□□SBFでは未対応です)

7 設定項目リスト

		S8BA-24D24D□□□ LF	S8BA-24D24D□□□ SBF
1	ブザー	◎	×
2	電圧感度モード設定	◎	×
3	コールドスタート設定	◎	×
4	最大バックアップ時間設定	◎	◎
5	起動時の自己診断テスト	◎	×
6	4 週間毎の自己診断テスト	◎	×
7	起動遅延時間設定	○	○
8	起動バッテリー充電容量設定	◎	◎
9	DC 起動	×	×
10	自動再起動	◎	◎
11	自動再起動モード	◎	×
12	BS 信号遅延時間設定	◎	◎
13	BU 信号遅延時間設定	◎	◎
14	BS 信号許可モード	○	○
15	リモート信号動作	◎	◎
16	接点信号論理	○	○
17	コンセント A/B/C 出力開始遅延時間設定	×	×
18	コンセント A/B/C 出力停止遅延時間設定	×	×
19	出力電圧設定	×	×
20	周波数同期モード	×	×
21	ECO モード	×	×
22	入力プラグ	×	×
23	切替感度	×	×
24	最大瞬停時間	○	×
25	電源スイッチ機能	◎	×
26	バッテリー寿命カウンタ	◎	◎
27	UPS 寿命カウンタ	○	○
28	バッテリーロー検出レベル	○	○
29	UPS 設置日	○	○
30	バッテリー交換日	○	○
31	表示言語	×	×
32	LCD 自動オフ	×	×
33	メモ	×	×
34	内蔵時計	×	×
35	ログ件数	×	×
36	コマンド送受信	○	○

◎ : 設定可能 (本体設定可能) ○ : 設定可能 (本体設定不可) × : 設定不可

	UPS 設定ユーティリティ (4.04) 取扱説明書	
	For S8BA	Rev 1.04

8. アンインストールおよび動作の確認

本ツールをアンインストールされる場合は次の手順で行ってください。

【アンインストール手順】

- ① 「起動遅延時間設定ツール」を終了させてください。
- ⑤ ツールを解凍する時に生成されたフォルダを、フォルダごと「ごみ箱」へ削除してください。